

令和元年度 会派調査研究報告書

(視察先1か所につき1枚)

会派名	堇真クラブ	
出席者	田原一孝・一木長博・浅川裕康・内藤正之・小沢栄一・木内吉英	
事業名	袋井市総合体育館建設について	
事業区分	①研究研修	②調査

1. 堇崎市での課題と研修・調査の目的

堇崎市では、市営総合運動場の整備計画が推し進められており、袋井市総合体育館建設にあたりPFI方式導入に至った経緯や状況、市民（利用者）アンケート等からの課題や問題点、今後の予定等を調査・研究するとともに、施設の見学を行い、本市における今後の課題解決の参考にしたい。

2. 実施概要

実施日時	令和2年1月16日（木） 13:30～15:00
視察先	袋井市総合体育館（さわやかアリーナ）
担当部局	袋井市議会事務局

1・袋井市の概要

袋井市は、静岡県の西部に位置し、旧袋井市、旧浅羽町の1市1町が平成17年4月1日に合併し、現在の形成をなしている。東は掛川市、西は磐田市、北は周智郡森町に接している。市内には豊かに広がる田園地帯と美しい茶畑があり、果物の王様といわれるマスクメロンの中でも最高級品として知られる「クラウンメロン」の生産地でもある。また、全国の中でも日照時間が長い地域であり、年平均気温も16度～17度と1年を通じて快適な環境である。平成31年4月1日現在の人口は、88,221名で、世帯数は34,587戸となっている。

2・袋井市総合体育館整備事業の経緯

- ◆袋井市総合体育館整備構想策定に伴うパブリックコメント（H26.1.10～2.10）
- ◆袋井市総合体育館整備構想策定（H26.3）
- ◆基本計画及びPFI導入可能性調査策定及び調査（H26.7）
- ◆袋井市総合体育館基本計画パブリックコメントの実施（H27.1.28～2.26）
- ◆市議会「総合体育館整備事業特別委員会」設置（H27.6）
- ◆PFIアドバイザリー業務委託（H27～28）
- ◆（仮称）袋井市総合体育館整備事業に関する提言書受理（H27.11）
- ◆袋井市総合体育館整備事業に関する意見書受理（H28.5）
- ◆袋井市総合体育館整備及び運営事業PFI事業契約締結（H29.2）
- ◆基本設計策定（H29.7）
- ◆実施設計策定（H30.3）
- ◆建設工事着工（H30.4）
- ◆竣工（R1.9）

報告内容

1. 運営状況（施設概要）

(1)屋内施設

- ◆メインアリーナ（バスケット2面・バドミントン8面・フットサル1面・他）
1階フロアには移動席500席を配置可能・2階観覧席には固定席500席を配置
- ◆サブアリーナ（バスケット1面・バドミントン4面・フットサル1面・他）
- ◆多目的室（研修室）
- ◆会議室
- ◆トレーニング室（トレーニング機器43台・ウェルネスシステム）
- ◆キッズルーム（屋内遊具・こどもトイレ）
- ◆ベビールーム（授乳室）
- ◆だれでもトイレ・更衣室・シャワールーム
- ◆武道場兼多目的フロア（柔剣道場2面・エアロビクス・研修等）
- ◆談話室
- ◆共有ラウンジ
- ◆ジョギングコース（2階観客席の周囲に約170m）

(2)屋外施設

- ◆駐車場458台（うち車椅子対応11台・ゆずりあい駐車場12台）
- ◆駐輪場300台（うち屋根付き104台）
- ◆屋外倉庫200m²
- ◆防災機能

- 避難所機能（約1500名収納可能）
- 防災備蓄庫（約120m²）
- 耐震性貯水槽（100t：非常用飲料水）
- マンホールトイレ（18基）
- かまどベンチ（2台：災害時は炊飯施設として利用）
- 非常用発電設備（72時間、一部空調設備も利用可能）

◆こども広場（緑地広場）

- さまざまな遊びができる芝生広場
- 1周約50mの木製屋根付き円環遊具を設置
- ロープわたり、丸太ジャングル、ボルダリングなど身体を使った遊びを体験
- ウォーキング＆ジョギングコース
- どまん中ストリート・駐車場を利用した各種イベントの開催

(3)その他

- ◆カフェ（This Is Cafe）

2. 考察（これらの取り組みを豊崎市にどう活かせるか）

袋井市では、さまざまな運動施設のほかに、子どもから高齢者までが集まる居場所づくりや健康増進への取り組み、防災機能の充実が図られていた。

民間活力を導入して建設された、袋井市総合体育館（さわやかアリーナ）の整備・運営手法や、施設の状況などを参考にし、本市における市営総合運動場の整備計画に活かしたい。



※写真等がある場合は添付すること